

令和元年度 里庄町 夏休み子ども劇場

美しい音楽と本格的なバレエで綴る幸せの物語

ミュージカル シンデレラ

辛くても微笑みを忘れない美しい心を伝えます

原作/シャルル・ペロー

脚本/北 麦生

演出/源 紀



マリオム・魔法使い
建島 慶子

ピエール
山上 綾加

大きい姉
一家 ゆり

小さい姉
浅見 かがり

王子 菅原 聡史

シンデレラ 鈴木 まりや

母
神野 美奈実

●プロデューサー
相羽 源之助

●制作
深田 倫紀
川島 清和

協力/株NEXst
制作/劇団東少

●音楽
塩谷 翔

●振付
相羽 源氏

●舞台監督
村井 重樹

●照明
立川 直也

●美術
高橋 あや子

●音響
木谷 晶代

●衣裳
山田 いずみ

日時 **8/21**水
令和元年

開場/午後 1:30
開演/午後 2:00
終演/午後 4:00

会場

里庄総合文化ホール
「フロイデ」
大ホール

入場料300円(全席自由)

令和元年7月16日(火)販売開始

■チケット販売所:
里庄町教育委員会事務局
(8:30~17:15)※土・日・祝除く

※0歳児からご入場いただけます(2歳以下ひざ上鑑賞無料)
※公演中止の場合を除き、チケットの払い戻しはできません。

※終演後、ロビーにて出演者による握手会があります。

お問い合わせ / 里庄町教育委員会 ☎(0865)64 - 7212

美しい音楽と本格的なバレエで綴る幸せの物語

ミュージカル

シャルル・ペロー原作

シンデレラ

かいつ

あらゆる童話の中で、シャルル・ペローの「シンデレラ」は、世界中の人々に愛され続けてきた作品といえるでしょう。又、世界中に何百と同じような話があると云われています。何がそれほど親しまれ、好まれてきたのか……やさしく真面目でいつも微笑みを忘れない素敵な娘が、継母や腹違いの姉さんたちから「灰かぶり」(シンデレラという言葉は「灰かぶり」と言う意味なのです)と呼ばれ、いじめられて泣いていましたが、舞路会で優しい王子様に出会い結婚し、お姫様となり、いつまでも幸せに暮らしました。……このようなハッピーエンドの物語が、万人の心をつかみ放さなかったのでしょうか。

「シンデレラ」は、グリム童話では非常に残酷なお話ですが、ペローのお話の「サンドリヨン」(これも「灰かぶり」と云う意味のフランス語です)では、魔法使いのおばあさんが登場し、古いかぼちゃを馬車に変え、12時になると魔法が解けてしまう物語で、一般的に知られているお話です。子どもから大人まで楽しめる感動的なミュージカルです。ぜひ、劇場で夢の世界をお楽しみ下さい。

あらすじ

むかしむかし、ある国に心のやさしい娘がいました。その娘が小さな頃、お母さんが亡くなり、やがて新しいお母さんが二人のお姉さんを連れてやって来ましたが、憎もなくしてお父さんも亡くなってしまいました。すると、新しいお母さんとお姉さんたちは、娘を「シンデレラ(灰かぶりという意味)」と呼ぶようになり、シンデレラに家中の仕事をさせるなど、いじわるばかりしました。

ある日のこと、国の王様のお城で舞路会が開かれることになりました。それは王子様のお姫様(結婚相手)を選ぶための舞路会だったのです。シンデレラの家にも舞路会の招待状が届きますが、「灰かぶりは行けないよ」と、新しいお母さんとお姉さんたちはシンデレラを置いてお城に出かけました。

「私も素敵なお城に行ってみよう」と、シンデレラは夢見ながら釜戸の前でホウキと踊りましたが、一人ぼっちが淋しくて泣いていました。すると、釜戸の中から魔法使いが現れたのです。「お前さんも舞路会に行っておいで」と、魔法使いが杖を振ると、台所の古いかぼちゃが素敵な馬車に、ネズミが白馬に、猫が馱者(馬を操る人)に変わりました。もちろんシンデレラも素敵なドレス姿に変わり、足元にはガラスの靴がキラキラと輝いています。でも、この魔法も真夜中の十二時をすぎると解けてしまいます。「いいかいシンデレラ、十二時までに必ず家に帰ってくるんだよ…」

喜んで舞路会へと向かったシンデレラ。王子様は美しいシンデレラに一目惚れをしてしまいます。時間を忘れるくらいにシンデレラと王子様はワルツを踊りますが、やがて十二時の鐘が鳴り始め、シンデレラは逃げるように王子様のもとを離れました。しかし、シンデレラはお城にガラスの靴を片方落としてしまいました。

シンデレラを探すため、王子様は大臣たちを連れて国中を回り、娘たちにガラスの靴を履かせることにしました。とうとうシンデレラの家にも王子様たちがやってきますが、お姉さんたちがガラスの靴に足を入れようとしても全く履けません。ですが、最後にシンデレラが履くとぴったりと合ひ、王子様はシンデレラを見つけたのです。

そして、シンデレラは王子様と結婚し、いつまでも幸せに暮らしました。

シンデレラ 鈴木 まりや



1991年4月29日生まれ、埼玉県出身。2009年AKB48の7期生としてデビュー。2017年の卒業以降、現在は女優として舞台、映画を中心に活躍中。2011年「こっぴりさん 劇場版」で映画初主演。主な出演作に映画「初恋スケッチ〜まいっちんぐマチ子先生〜」、「チャットゾーン」、舞台「虹色唱歌」、「南十字星へのプレリュード」など。

王子 菅原 聡史



専門学校東京アナウンス学院卒業後、イツフォーリーズ付属養成所でミュージカルの基礎を学ぶ。劇団東少作品「赤い靴」で初舞台を踏み、劇団四季等を経て現在フリー。主な出演作は、「赤い靴」「シンデレラ」「白雪姫」「孫悟空」「フットルース」「FAME」「クリスマスキャロル」等。又、ドラマやコンサート・テーマパークダンサー・シンガー等、多方面で活躍中。



継母
神野美奈実



小さい姉
浅見かがり



大きい姉
一家ゆり



ピエール
山上綾加



マリオム・魔法使い
建島慶子



■協力/フレイヴ エンターテインメント・Gスタジオ (株)NEXst

●劇団東少・受賞のかずかず……厚生省児童福祉文化賞・東京都児童劇団優秀賞・読売児童演劇賞・日本児童演劇脚本賞(創立1949年)

劇団東少の紹介 “劇団東少創立 70 周年記念”

劇団東少は、1949年創立以来公演活動を続けて半世紀を越えた歴史ある児童演劇の専門劇団です。公演地は全国的であり、公演日数も年間100日を越え15万人以上の動員をしています。特に東京公演では、1985年からスタートした東京日本橋の三越劇場で夏・冬のファミリー劇場は、定期公演になり、一般公演の少ない児童演劇界でホール専用の質の高いプランニングが、美しいステージを創り出しています。又、出演者は数百名のオーディションの中から選ばれた、演技・ダンス・歌に実力ある俳優とベテラン俳優が参加し、大人も子どもも感動できる作品を制作し、公演しています。

劇団東少の作品レパートリーは、心の優しさを描き、涙と笑いと感動のできる本格的な創作ファミリーミュージカルとして好評を博しております。